



サイトで交流絆強める

秋田杉がこれからも勢いよく成長する姿を、東海秋田県人会とともに見守っていきたいと思います」と一文を添えた。

ウェブサイト「あきたじ

ん」(<https://common>

[3.pref.akita.lg.jp/kenj](https://common)

[inkai](https://common))は、全国各地の秋

田県出身者らに古里の情報

を発信する。それととも、

各地から秋田県に関する情

報が寄せられる。

サイトは2015年度に

秋田県が開設した。同県総

務部は「秋田県出身者やゆ

東海秋田県人会

かりの人たちで作っている県人会や郷土会、同窓会などの団体は、全国で200を超え、そうした人々と古里との距離を縮めようと始めた」と話す。



「写真」は「地方創生の一環として

昨年春以降は、新型コロナウイルスにより総会・懇親会を始め、行事のほとんどを自粛したが、投稿は続けた。開催を見合わせていた役員会を久しぶりに開催したこと、名古屋駅のジェ

東海以外の県会も活発に情報を発信している。近畿秋田県人会は年末から年始にかけて京都、大阪で行われた全国高校駅伝、全国高校ラグビーの応援の様子を投稿し、松戸市秋田県人会(千葉県)は「菅さんをながもちさせる会」を開催したことを投稿している。

各地の団体が「交流推進

て、全国にいる秋田県出身者らが交流を深める場にと開設された。「あきたじん」を通して、全国各地の秋田県人会との絆を強めていきたい」と話す。

山崎会長も交流推進員の一人として投稿している。

東海秋田県人会の藤原直哉事務局長(62)は「各地の秋田県人会や地域のふるさと会、高校の同窓会などの活動は、東海秋田県人会の今後の活動にも大いに参考になる。もちろん、東海からも古里、全国に向けて積極的に発信していきたい」と話す。

東海秋田県人会 1950年結成。山崎幸一(秋田市出身)、会長300人。事務局は愛知県春日井市細木町1の42。入会などの問い合わせは、「あきたじん」のホームページから受け付けている。

東海秋田県人会の恒例行事「なべっこ遠足」で古里の味や酒を楽しむ会員ら(2018年11月撮影)



東海秋田県人会では6月と11月に、きりたんぼやいぶりがつこなど古里の味や酒を味わう「なべっこ遠足」を開催している。その様子はもちろん、昨年2月に名古屋市内の商業施設で行われた「かまくらまつり」など、様々な活動を発信した。

愛知県大府市の「あいち健康の森公園」を散策した際に見つけた秋田杉について書いた。1997年に植えられた苗木は24年間で幹の直径が25センチほどに成長していた。すくすくと伸びた秋田杉に古里への思いを込め、写真には「東海の地で

秋田杉がこれからも勢いよく成長する姿を、東海秋田県人会とともに見守っていきたいと思います」と一文を添えた。



「写真」は「各地の秋田県人会や地域のふるさと会、高校の同窓会などの活動は、東海秋田県人会の今後の活動にも大いに参考になる。もちろん、東海からも古里、全国に向けて積極的に発信していきたい」と話す。